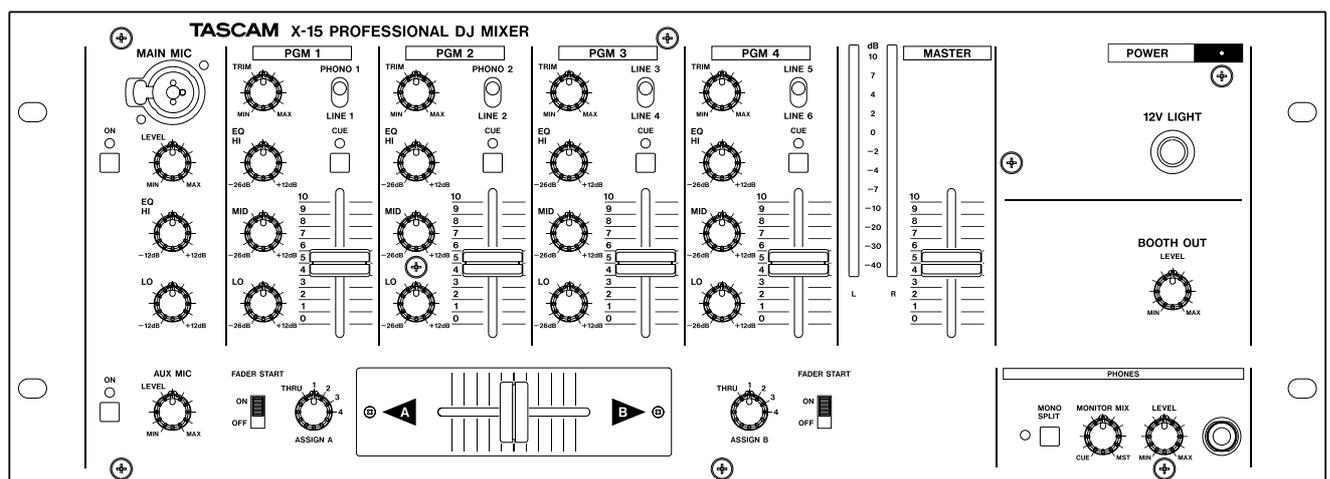
D00675400A

TASCAM
TEAC Professional Division

X-15

Professional DJ Mixer

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告	
	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

	⚠警告
	この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2 cm以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

	⚠注意
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	ACアダプターは布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

はじめに

このたびは、TASCAM X-15をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を良くお読みいただき、正しい使用方法をご理解いただいた上で、充分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

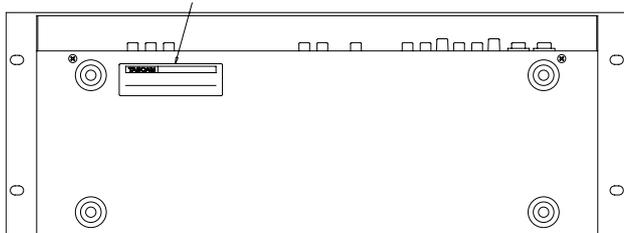
目次

X-15は、標準的なDJミキサーの使い勝手を踏襲するとともに、クロスフェーダースタート機能を備えた、4チャンネルDJミキサーです。

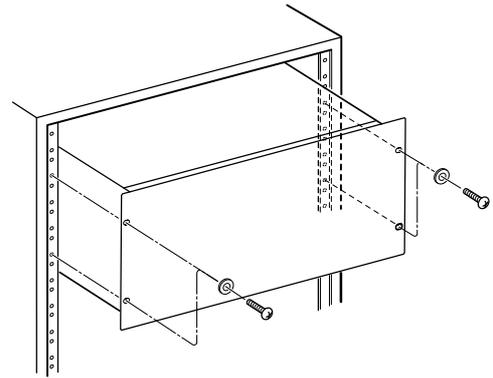
接続時のご注意

全ての接続は、電源を切った状態で行ってください。
全ての接続が終わったら、X-15に接続されている機器、X-15、パワーアンプの順番で電源を入れてください。電源を切る場合は逆の手順で行ってください。
電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、電源を切って約3秒以上経ってから行ってください。

シリアルナンバー表示

X-15のシリアルナンバーは本体のボトムパネルにあります。

付属品

1. PHONO端子用ショートピンプラグ（装着状態で出荷）..4
2. ACアダプター（PS-P17X）....................................1
3. 取扱説明書（本書）....................................1

ラックマウント方法

この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

タスカム営業技術

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106

FAX：0422-52-6782

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまたは大阪サービスセンターまで
ご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:00〜17:40です。

修理センター

〒358-8510　埼玉県入間市小谷田857

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

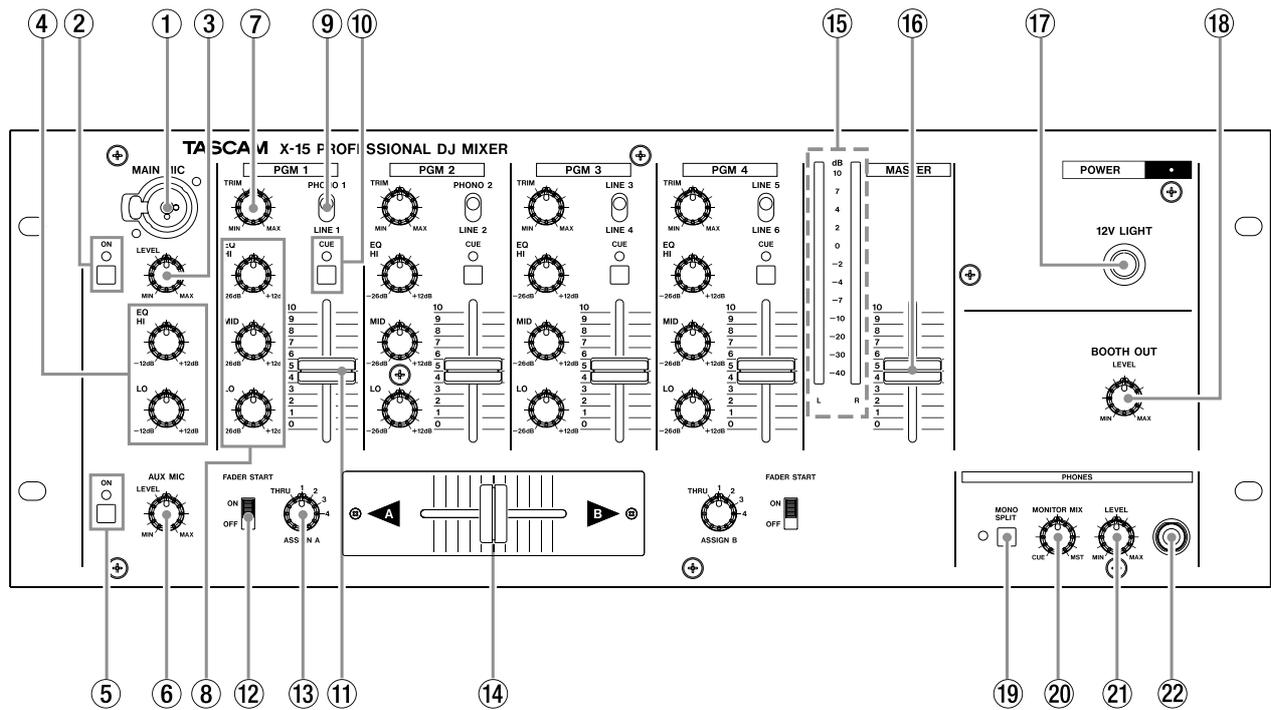
ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても
市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからは
ナビダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-962-8226

FAX：042-962-8379

大阪サービスセンター

〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-34-10

電話：06-6384-5201

トップパネル

① MAIN MIC（XLR/TRS、バランス）
マイクを接続します。

ピンアサイン

	XLR	TRS
GND:	Pin 1	Sleeve
HOT:	Pin 2	Tip
COLD:	Pin 3	Ring

ご注意

リアパネルにもMAIN MIC入力端子があります。マイクはどちらか片方のみに接続してください。

② ONスイッチおよびLED（MAIN MIC）
メインマイクチャンネルのオン、オフを行います。オンのときにはLEDが点灯します。

③ MAIN MIC LEVEL
メインマイク入力レベルを調整します。

④ MIC EQ
マイク入力用2バンドEQです。

⑤ ONスイッチおよびLED（AUX MIC）
AUXマイクチャンネルのオン、オフを行います。オンのときにはLEDが点灯します。

⑥ AUX MIC LEVEL
AUXマイク入力レベルを調整します。

⑦ TRIM
各PGMの入力信号レベルを調整します。

ご注意

入力信号のレベル調整は、メーターやヘッドホンを使って、歪まないように注意深く行ってください。

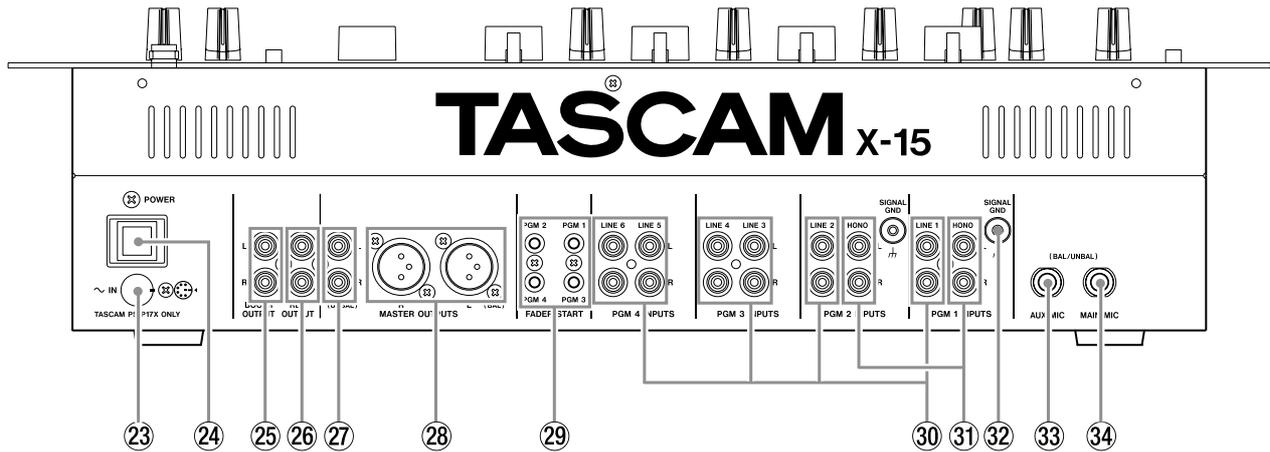
⑧ PGM EQ
PGM用の3バンドEQです。
全てのEQを−26 dBにすると、音はカットされます。

⑨ 入力選択スイッチ
各PGMの入力ソースを選択します。

⑩ CUEスイッチおよびLED
各PGMのプリフェーダー信号をCUEモニターセクションに送ります。このとき、CUE LEDが点灯します。

⑪ PGM FADER
各PGMのレベルを調整します。

⑫ FADER START ON/OFFスイッチ
クロスフェーダースタートのオン、オフを行います。

⑬ CROSS FADERアサインセレクター
クロスフェーダーにアサインするソースを選択します。クロスフェーダーにアサインされていないPGM信号は、直接MASTERフェーダーに送られます。THRUの位置に設定すると、クロスフェーダーには信号が送られません。

⑭ CROSS FADER
CROSS FADERアサインセレクター⑬でアサインされたPGMチャンネルをフェーダーコントロールします。
クロスフェーダーは交換可能です。

⑮ METER
マスター出力レベルを表示します。

ご注意

レベルメーターは、マスターフェーダーを通った後の信号を表示します。

⑯ MASTER FADER
マスター出力レベル（XLRバランス出力およびRCAアンバランス出力の両方）を調整します。

⑰ 12V LIGHT
12Vのライトを接続します。（最大5W）

⑱ BOOTH OUT LEVEL
ブース出力レベルを調整します。

⑲ MONO SPLITスイッチおよびLED
ヘッドホンモニターモードを、MONO SPLITモードにするかSTEREOモードにするかを選択します。MONO SPLITモード時はLEDが点灯します。

STEREO：

CUE信号とMASTER信号が、常にステレオでモニターできます。

MONO SPLIT：

CUE信号は左から、MASTER信号は右からモニターすることができます。ただし、モノラルでのモニターになります。

⑳ MONITOR MIX
ヘッドホンモニター時のCUE信号とMASTER信号のレベルバランスを調整します。

㉑ PHONES LEVEL
ヘッドホン出力レベルを調整します。

㉒ PHONES
ヘッドホンを接続します。

クロスフェーダーの交換方法

1. クロスフェーダーパネルの2個のネジを外します。
2. クロスフェーダーを外します。
3. フェーダーに接続されているケーブルを外します。
4. 新しいクロスフェーダーを用意します。
5. 新しいクロスフェーダーにケーブルを接続します。
6. 新しいクロスフェーダーをネジ止めします。

リアパネル

㉓ AC Adaptor in
付属のPS-P17Xを接続します。

ご注意

⚠この機械には付属のACアダプター（PS-P17X）をご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

● 端子横の図をよく見て、正しい向きでACアダプターのプラグを挿し込んでください。誤った向きで無理に挿入すると、機械を損傷させることがあります

㉔ POWER
電源スイッチです。

㉕ BOOTH OUTPUT（RCA、アンバランス）
BOOTH OUT LEVELで調整された信号を出力します。

㉖ REC OUTPUT（RCA、アンバランス）
プリマスターフェーダー信号を出力します。

㉗ MASTER OUTPUT（RCA、アンバランス）
マスターフェーダーで調整された信号を出力します。

㉘ MASTER OUTPUT（XLR、バランス）

マスターフェーダーで調整された信号を出力します。

ピンアサイン

GND: Pin 1
HOT: Pin 2
COLD: Pin 3

㉙ FADER START

フェーダースタート機能を備えた、プレーヤーを接続します。
クロスフェーダースタート機能は、A、B独立してオン、オフの設定が可能です。クロスフェーダーを動かすことにより、接続されたプレーヤーに対して、スタート/バックキュー信号を自動的に出力します。

ご注意

この機能をお使いになる場合、オーディオ信号も同じX-15に接続してください。フェーダースタート信号はTip端子から出力されます。バックキュー（フェーダーストップ）信号はSleeve端子から出力されます。

㉚ LINE 1〜6（RCA、アンバランス）

CDプレーヤーやMDなどのラインレベル出力機器を接続します。

㉛ PHONO 1〜2（RCA、アンバランス）

MMカートリッジを装着したレコードプレーヤーを接続します。
ターンテーブル（レコードプレーヤー）を接続しないときには、
付属のショートピンプラグを挿しておいてください。

ご注意

PHONO出力以外の機器を接続しないでください。

㉜ SIGNAL GND

レコードプレーヤーのアース線を接続します。アース線を接続しないと、ハムやノイズを発生する場合があります。

㉝ AUX MIC（TRS、バランス）

マイクを接続します。

ピンアサイン

GND: Sleeve
HOT: Tip
COLD: Ring

㉞ MAIN MIC（TRS、バランス）

マイクを接続します。

ピンアサイン

GND: Sleeve
HOT: Tip
COLD: Ring

ご注意

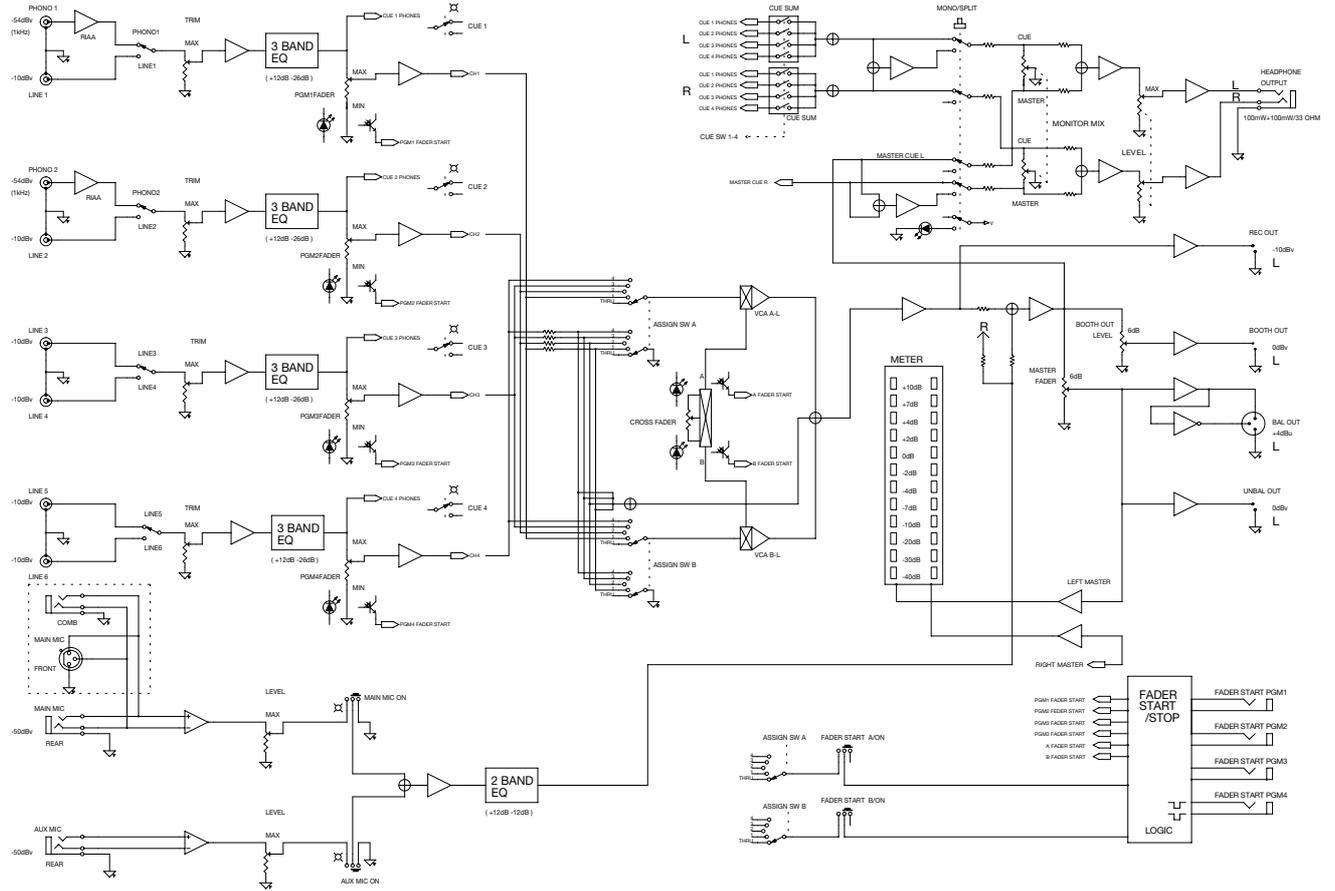
トップパネルにもMAIN MIC入力端子があります。マイクはどちらか片方のみに接続してください。

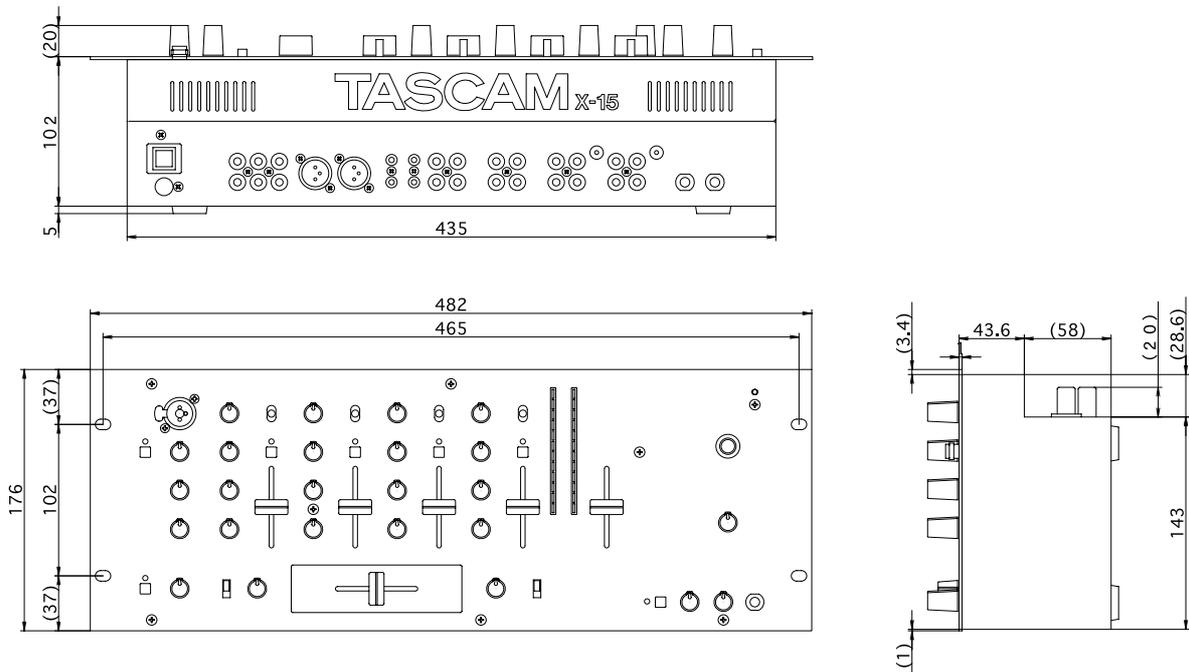
定格

LINE INPUT（PGM 1-4）[RCA、アンバランス]
入力レベル： −10 dBV
入力インピーダンス： 10 kΩ
PHONO INPUT（PGM 1-2）[RCA、アンバランス]
入力レベル： −54 dBV
入力インピーダンス： 47 kΩ
MAIN MIC INPUT（トップパネル）[XLR/TRS、バランス]
入力レベル： −50 dBV
入力インピーダンス： 2.8 kΩ
MAIN MIC INPUT（リアパネル）[TRS、バランス]
入力レベル： −50 dBV
入力インピーダンス： 2.8 kΩ
AUX MIC INPUT［TRS、バランス]
入力レベル： −50 dBV
入力インピーダンス： 2.8 kΩ
MASTER OUTPUTS（BAL）[XLR、バランス]
規定出力レベル： +4 dBu
出力インピーダンス： 75 Ω
MASTER OUTPUT（UNBAL）[RCA、アンバランス]
規定出力レベル： 0 dBV
出力インピーダンス： 100 Ω
REC OUTPUT［RCA、アンバランス]
規定出力レベル： −10 dBV
出力インピーダンス： 100 Ω
BOOTH OUTPUT［RCA、アンバランス]
規定出力レベル： −10 dBV
出力インピーダンス： 100 Ω
PHONES 100mW+100mW、（33Ω負荷時）

性能

周波数特性
LINE IN： 20 Hz〜20 kHz、±1.0 dB
PHONO IN： 30 Hz〜15 kHz、±2.0 dB（RIAA）
MIC IN： 30 Hz〜18 kHz、±3.0 dB
SN比
LINE IN： 78 dB（IHF A WTD）
PHONO IN： 70 dB（IHF A WTD）
MIC IN： 60 dB（IHF A WTD）
歪率
LINE IN： <0.1 %
PHONO IN： <0.2 %
MIC IN： <0.2 %
クロストーク： >60 dB (@1kHz)
PGM EQ
HIGH： +12 dB〜−26 dB
MID： +12 dB〜−26 dB
LOW： +12 dB〜−26 dB
フィルター（Cut Frequency at −6dB, slope 12dB/oct in all the cases）
HIGH： 6.5 kHz
MID： 6.5 kHz & 200 Hz
LOW： 200 Hz
MIC EQ
HIGH： 5.5 kHz、+12 dB〜−12 dB
LOW： 125 Hz、+12 dB〜−12 dB
電源： 100 V、50 − 60 Hz
消費電力： 21W
外形寸法： 482（幅）×176（高さ）× 102（奥行き） mm
質量： 4.0kg（本体）
0.8kg（ACアダプター）

ブロックダイアグラム

X-15 BLOCK DIAGRAM

寸法図

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

http://www.teac.co.jp/tascam/